

プログラム名称

「異文化体験を通して、宗教についての知識と理解を深める研究旅行奨励制度」

滞在先：シンガポール

日程：2010年7月20日（火）～25日（日）

<第一日 7月20日（火）>

朝7：30に家族に見送られて室見の神学寮を出発。室見駅から地下鉄空港線にて福岡空港へ。8：30頃、福岡空港国際線ターミナルに到着し、チェックイン・出国手続きを行う。10：15発、シンガポール航空SQ655便にて、シンガポールへ旅立つ。

約6時間のフライトを経て、16：15にシンガポール・チャンギ空港に到着。現地通貨に両替をした後、タクシーで指定されたホテル「Thompson Value Hotel」に向かう。約20分ほどでホテルに到着、早速チェックインを行う。今日の天気は曇りで、ホテルについてからは雨も降り始めてきた。日差しがないので、それほど暑くはない。

チェックイン後、荷物を置いてホテル付近を少し散策した後、少し休憩を取る。李さんがシンガポール在住の叔母に連絡をとったところ、夕食をいっしょに食べることになる。ホテルから少し離れているため、18：00頃タクシーで叔母さん（金さん）のご自宅へ向かう。

金さんのお宅で、ご家族の食事にご一緒させていただく。キムチ、チヂミなどの家庭的韓国料理をご馳走になる。韓国語ができないので金さんご一家とそれほどお話しはできなかったが、楽しいひとときを過ごす。21：00頃タクシーでホテルに戻り、二人とも疲れていたため22：00過ぎに就寝する。



<第二日 7月21日(水)>

6:00起床。ホテル近くの中華料理レストランでバイキング形式の朝食を済ませ、出発の準備をする。予定では8:10に他の参加者と共にロビーに集合し、バスが迎えに来ることになっている。ロビーで待つ他の参加者にあいさつと自己紹介をした後、8:30に専用バスで本日のワークショップの会場、Royal Hotelに向かう。

15分ほどでRoyal Hotelに到着。かなり立派な、高級ホテルといった感じ。この13Fにある会議室が、本日の説教ワークショップの会場である。会場入り口でテキストをもらい、録音と記録のため前の方に席をとる。開始時間の9:00が近づくと、100人ほど入る会議室はほぼ満員となる。

9:00に本日の説教ワークショップが始まる。開始の祈り、数曲の賛美の後、今回私たちに岡村先生を通して説教セミナー参加に誘ってくださった、Johnson Lim先生によるイントロダクションが行な



われる。その小柄な体からは想像できない、エネルギーでユーモアあふれる語り口によって観客を飽きさせない、とても魅力的な先生であった。

9:45から、いよいよメイン・スピーカーのLaRue先生による講義が始まった。Cleophus J. LaRue先生はアメリカ・プリンストン神学校の助教授であり、専門は説教である。今日行われた講義は、マタイ25:14-30をテキストとした、LaRue先生によるモデル

説教とその解説から始まり、「説教のための効果的な聖書の釈義」「テキストから説教へ」「声の効果的な使い方」をテーマに講義がなされた。

本日一番印象に残ったのは何といたっても最初のモデル説教である。「タラントの喩え」を題材にしたその説教は、今までに私が聞いてきた説教とは違う力強さがあり、圧倒されてしまった。その他の講義は、全部英語だったこともありわからない部分もそれなりにあったが、実践で役に立つことをいろいろ学べて非常に有益であった。



17:00に初日のワークショップが終了し、今日は天気も良く時間的に余裕があったので、李さんとシンガポール中心街を散策する。せっかくシンガポールに来たのだから、「マーライオン」で記念写真を撮ってから、21:00頃ホテルに戻る。

<第三日 7月22日(木)>

6:00起床。昨日と同じレストランで朝食を取る。今日と明日は、2日間連続で説教セミナーが行われる。8:30頃専用バスで会場の **Queenstown Baptist Church** に向かう。五階立ての建物の最上階に礼拝堂があり、そこがセミナー会場である。エレベーターはあるのだが、「60歳以上の人のみ」という表示があり、ほとんどの人は階段で上り下りを強いられ、これがなかなか大変であった。



9:00にセミナーが始まる。参加者は150名くらいだろうか。30分ほどのプレイズ、ワーシップソングによる賛美の後、まず **LaRue** 先生による「預言者的説教」の講義が始まる。旧約聖書の預言者の特徴からその生涯、説教の特徴について説明がなされ、現代における「預言者的説教」について講義されたが、内容がかなり高度で、しかも英語であったのであまりよく理解できなかった。

続いて **Johnson Lim** 先生による「言葉の力」の講義がなされた。内容はイザヤ書40章1～11節を題材にした講義であり、旧約聖書が専門の **Johnson** 先生らしく、ヘブライ語の解説がかなり含まれたものであった。**Johnson** 先生の講義は本当にエネルギーであり、まさに全力投球、といった感じであった。



昼食をはさんで午後は、**LaRue** 先生による「愚かな説教者からどのように成長していくか」「逆境に打ち勝つ」というテーマの講義の後、「偉大な説教者」というDVD映像により、アメリカの偉大な黒人説教者、**Gardner Taylor** の説教を聴き、17:00に初日のセミナーは終了。

セミナー終了後、昼食時に知り合った地元の女性牧師先生の車で、市内のキリスト教書店に連れてってもらいしばらく見学する。その後、近くの中華風大衆食堂で夕食とした後、疲れていた私は李さんと別れて先に地下鉄でホテルに戻る。シンガポールの地下鉄はきれいで、車内も広い。街もきれいで整っているの、ある意味日本とそんなに変わらない印象である。ホテルに戻り、疲れていたので早めに就寝する。

<第四日 7月23日(金)>

今日も6:00起床。昨日知り合った、Queenstown Baptist Churchの青年担当スタッフのエリックさんから朝食に誘われていたので、李さんと共に、他の数人のセミナー参加者と、ホテルに迎えに来たエリックさんの車に乗り込んで、近くのレストランへ向かう。そこで朝食をとりながらフェローシップを楽しんだ後、直接会場のQueenstown Baptist Churchに向かう。

今日は合計3日間のセミナーの最終日。昨日と同じく、30分ほどプレイズ・ワーシップソングにより賛美した後、講義が始まる。まずLaRue先生による「説教におけるパッション」という講義が行われ、その後「説教における力」という題でJohnson先生が講義を行った。この講義の中心テーマは“Unction”（聖霊の油注ぎ）であり、聖霊の油注ぎが説教にいかに重要な意味を持つか、というのが主な内容であった。「油注ぎ」という概念はバプテストではあまり耳にしないが、Johnson先生の力強い語り口も相まって、非常に興味深い内容であった。



昼食をはさんで、午後は「説教における想像力の効果的な使い方」というLaRue先生の講義の後、今回の説教セミナーのタイトルにもなっている“Lilian H.K. Lim”先生の紹介がなされた。岡村先生は、生前のLilian先生とはとても親しい友人だったそうである。また、Lilian先生は、かつて金丸先生がアメリカに留学されていたとき、同じ寮に住んでいた方だそうである。今回、Lilian先生が生前に設立した基金のおかげで、この素晴らしい説教セミナーに参加できたのである。改めて、Lilian先生、そして現在基金の運営の中心を担っているJohnson先生に感謝したいと思う。

さて、初日のワークショップも含めて、3日間のセミナーも終了である。セミナー最終日の夕食は、中華料理のレストランにて、参加者でテーブルに分かれてのディナーである。幸運なことにJohnson先生が隣に来られたので、西南の講義のことや、岡村先生の近況のことなどをお話する。とても楽しい夕食のひとつときであった。ここでJohnson先生とはお別れとなるので、李さんと共に心からの感謝を述べて、ホテルに戻る。

<第五日 7月24日(土)>

7:00頃起床。朝食を済ませ、荷物をまとめてチェックアウトし、タクシーを呼んでもらう。今日は、シンガポール国際日本語教会の大谷先生ご夫妻



と共に、Grace Baptist Church で行われる、教会成長に関する1日セミナーに参加予定。8:00頃ホテルを出発するが、会場の教会は思いのほか近く、10分ほどで到着する。9:00のセミナー開始まで、大谷先生ご夫妻が到着するのを、教会駐車場でしばらく待つ。

しばらく待ったところ、ほぼ9:00ジャストに大谷恵護先生、レニー先生ご夫妻がタクシーで到着。時間が迫っているので挨拶もそこそこに、3Fの礼拝堂に向かう。今日のセミナーは「東南アジアにおける、都市部の教会開拓と成長」というもので、シンガポールバプテスト連盟と、Grace Baptist Churchの共済によるもの。講師のIan先生は、カナダ出身の方で現在は南部バプテスト連盟・インターナショナル・ミッション・ボードの東アジア地域リーダーをされており、カナダ、アメリカ、シンガポールの神学校で教会成長について教えていたこともある方である。



シンガポールのクリスチャン事情についての説明の後、教会開拓、教会成長についての基本的事項、そして「セル教会モデル」「大教会ブランチ・モデル」「家の教会モデル」など、7つの教会開拓、成長についてのモデルの説明がなされた。この後も興味深い内容が続いたが、疲れがピークに達していたのと、英語だったこともあり、残念ながらよく理解できない部分も多かった。

セミナー終了後、日本語教会の教会員の方が車で迎えに来るまで、大谷先生としばらくお話をする。17:30頃、日本語教会の執事、大川さんの車が到着し、そのまま夕食に向かう。車内で大川さんから、シンガポール事情をいろいろ聞かせてもらう。30分ほど走ったところで、大川さんが仕事仲間とたまに来るとい中華料理レストランで夕食をご馳走になる。夕食後、空港まで車で送ってもらい、そこで大谷先生ご夫妻と大川さんとお別れする。



空港でチェックインをするために列に並んでいる時に、李さんと合流する。出国手続きを済ませ、夜中の1:15にシンガポール航空、SQ656便で福岡へ向けて出発。機内で寝ていられる時間は実質3時間ほどなのでほとんど寝られないまま、朝8:15に福岡空港に到着。入国手続き後、タクシーで、まず長住教会へ向かい、私を降ろした後、そのまま李さんは福岡南伝道所へ向かう。二人ともに、無事に教会へ到着し、ツアーは終了となる。〈了〉